

静岡県立静岡がんセンター

認定看護師教育課程

2018年度募集要項

目 次

静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程の概要

I. 入学試験要項

1. 選考試験日と会場
2. 筆記試験概要
3. 出願資格

II. 出願手続き

1. 願書受付期間
2. 募集要項および出願書類
3. 願書提出方法
4. 入学検定料
5. 出願・受験の取り消し
6. 出願上の注意
7. 受験票の送付
8. 入学選考等の個人情報について

III. 合格発表

IV. 試験結果の開示

V. 受講手続き

VI. 受講手続後の辞退について

VII. 資格の取得

VIII. 課程修了後の研修について

IX. 分野別選抜要項およびカリキュラム概要

1. 皮膚・排泄ケア分野
2. 緩和ケア分野
3. がん化学療法看護分野
4. 乳がん看護分野
5. がん放射線療法看護分野

別添 1. 出願書類の記載および提出における注意事項

静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程の概要

【教育理念】

がん医療をとりまく環境は著しく変化し、がん患者や家族のニーズは多様化している。この多様化に対応するため、静岡県立静岡がんセンターは、がん医療に深く関連する分野の認定看護師教育課程を設置した。ここで我々は、静岡がんセンターの豊かながん医療を土壌として、がん医療について広い知識を持ち、各分野で専門性の高い実践力を発揮できる認定看護師を育成する。

【教育目的】

各分野の研修生が専門性の高い知識と技術を習得し、多職種チーム医療のなかでこれらを発揮して、実践・指導・相談の役割を十分に果たせる能力を養う。

【開講期間】

2018年8月上旬から2019年3月中旬までの予定

【募集分野と人員】

分野名	募集人員
皮膚・排泄ケア分野	20名
緩和ケア分野	20名
がん化学療法看護分野	20名
乳がん看護分野	20名
がん放射線療法看護	20名

【年間スケジュール】

8月上旬	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月中旬
講義・演習				臨地実習		演習	まとめ
↓						↓	
開講式						修了式	

I. 入学試験要項

1. 選考試験日と会場

1) 実施期日

2018年1月10日（水）～1月11日（木）

2) 試験科目及び実施時間

○一次選抜試験

	月 日	時 間	試 験 科 目
筆記試験 I	1月10日（水）	10:30～12:00	専門科目（選択解答式）

○二次選抜試験

※一次選抜試験合格者に対して二次選抜試験を実施する。

※受験者数40名以上の分野は、成績上位40位迄を一次選抜試験の合格とする。

※一次選抜試験の合格者の受験番号は1月11日（木）8:30に静岡県医療健康産業研究開発センター（ファルマバレーセンター）4階交流ホール前に掲示する。

	月 日	時 間	試 験 科 目
筆記試験 II	1月11日（木）	9:00～10:30	専門科目（記述式）
口述考査		10:45～	面接

※口述考査は原則として受験番号順とする。

3) 試験会場

静岡県駿東郡長泉町下長窪 1002-1 静岡県医療健康産業研究開発センター内
（ファルマバレーセンター）

2. 筆記試験概要

	筆記試験 I	筆記試験 II
皮膚・排泄ケア	創傷・オストミー・失禁領域における解剖生理学、臨床実践に関する基本知識、臨床場面における判断やアセスメント・看護ケアに関する選択解答式問題	創傷・オストミー・失禁領域患者の臨床場面で、患者の状況、局所のアセスメントができるかを問う事例記述式問題
緩和ケア	がん看護及び緩和ケアに関連した基礎知識、緩和ケアの臨床実践に関する基本知識、緩和ケアの臨床場面における判断やアセスメント・看護ケアに関する選択解答式問題	緩和ケアを受ける患者とその家族のアセスメントを含む看護過程を問う記述式問題、及び自身が実践する緩和ケアを言語化する力をみる記述式問題
がん化学療法看護	がん及びがん看護に関連した基礎知識、がん化学療法の臨床実践に関連した基本知識、がん化学療法の臨床場面におけるアセスメントや看護に関する選択解答式問題	がん化学療法を受ける患者とその家族のアセスメントと看護支援を問う記述式問題、及び基本的ながん化学療法の治療や看護を踏まえた上で、自身の考えを要約する力をみる記述式問題

乳がん看護	乳がんの病態・治療及び乳がん看護に関連した基本知識、乳がん看護の臨床実践に関連した基本知識、乳がんの臨床場面におけるアセスメントや看護に関する選択解答式問題	集学的治療を受ける乳がん患者の臨床場面で、患者、家族のアセスメントや看護支援を問う事例記述式問題、乳がん治療や看護の動向を踏まえ自身の考えを要約する力をみる記述式問題
がん放射線療法看護	がん及びがん看護に関連した基礎知識、がん放射線療法の臨床実践に関連した基本知識、がん放射線療法の臨床場面におけるアセスメントや看護に関する選択解答式問題	がん放射線療法を受ける患者とその家族のアセスメントと看護支援を問う事例記述式問題、及びがん放射線療法の治療や患者とその家族の状況を踏まえた上で自身の考えを言語化する力をみる記述式問題

3. 出願資格

出願資格は以下の要件をすべて満たしていることを条件とする。

- 1) 日本国の看護師の免許を有する。
- 2) 看護師免許を取得後、通算5年以上(注1)実務研修(注2)をしていること。
- 3) そのうち通算3年以上は(注3)特定の看護分野(認定看護分野)の実務研修(注2)をしていること。

詳細はP8～17「分野別選抜要項およびカリキュラム」を参照のこと。

(注1) 2017年12月末で、看護師としての看護実務経験が60か月以上であることを意味する。

(注2) 実務研修とは、看護師としての看護実務経験を意味する。

(注3) 特定の看護分野における通算3年以上の実務研修については、勤務形態が常勤でない場合には、5400時間以上の実務研修をもって通算3年以上とみなす。

II. 出願手続き

1. 願書受付期間

2017年11月1日(水)～2017年11月30日(木)(消印有効)

2. 募集要項および出願書類

- 1) 募集要項および出願書類一式は静岡県立静岡がんセンター ホームページ (https://www.scchr.jp/education/certified_nurse_education_system.html) からダウンロードするものとする。
- 2) 「出願書類の記載等における注意事項」についてはP18「別添1. 出願書類の記載および提出における注意事項」を参照のこと。
記載等に不備な点がある場合は受験できないものとする。

3. 願書提出方法

- 1) 提出書類一式

提出書類	
入学願書(様式1)	履歴書(様式2)
実務研修報告書(様式3)	勤務証明書(様式4)
推薦書(様式5)	事例要約(様式6)
受験票(様式7)	免許証(看護師免許証の写し)
受験票返信用封筒	選考試験結果通知書送付用封筒

※ 出願者は、上記出願書類一式を期日内に「簡易書留」で郵送するものとする。

※ 封筒に「認定看護師教育課程願書在中」と朱書きで明記するものとする。

2) 出願書類等の提出先

〒411-0934 静岡県駿東郡長泉町下長窪 1002-1

静岡県医療健康産業研究開発センター内

静岡県立静岡がんセンター 認定看護師教育課程 事務担当

電話番号 (055) 980-5191

4. 入学検定料

50,000 円

提出書類受理後に受験票および納入通知書を受験者の現住所に郵送するので、納入通知書により選考入試前日までに振込みするものとする。

また、振込み後の「納入通知書兼領収証」の写しを試験当日に持参するものとする。

5. 出願・受験の取り直し

入学選抜試験の出願・受験を取り消す場合は、電話連絡後、下記の文例を参考にした書面を提出する。連絡・提出先は、認定看護師教育課程事務担当とする。

<文例>

出願・受験取り直しについて

私事都合により、静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程〇〇分野の出願及び受験を取り消します。

20〇〇年 〇月〇日 受験番号〇〇 静岡花子 (自署) 印

推薦者署名 印

6. 出願上の注意

- 1) 出願書類等に不備がある場合は、受理しない。
- 2) 出願書類の記載内容が事実と相違する場合は、受講許可後でも許可を取り消すことがある。
- 3) 一度納入された検定料については、理由を問わず返還しない。

7. 受験票の送付

提出書類一式を審査し、受験資格が認められた者に、受験票を12月末に郵送する。

1月上旬までに受験票が届かない者は、認定看護師教育課程事務担当まで連絡するものとする。受験時には受験票を必ず携帯するものとする。

8. 入学選考等の個人情報について

出願にあたって提供された氏名、住所その他の個人情報については、本教育課程における選考試験（出願処理、選考実施）、合格発表ならびに入学手続きなど、これらに付随する業務においてのみ利用し、それ以外の目的では利用しない。

Ⅲ. 合格発表

1) 発表日時

2018年1月30日(火) 午前11時

2) 発表場所

静岡県立静岡がんセンター ホームページ

(https://www.scchr.jp/education/certified_nurse_education_system.html)

3) 選考試験結果の通知

選考試験を受験した者全員に合否を郵送で通知する。

合否の結果に関する電話等による問い合わせには応じない。

Ⅳ. 試験結果の開示

この試験の受験者は、自己情報の開示を請求することができる。開示を希望する者は、認定看護師教育課程事務担当へ電話にて日程調整後、受験者が本人であることを証明する書類(運転免許証等)を持参のうえ、直接来校する。なお、郵送等による開示請求はできない。

開示請求できる人	開示内容	開示期間	開示場所
受験者	総合得点及び順位	合格発表日より 1か月間	静岡県医療健康産業 研究開発センター内

開示対応時間：土日祝日を除く午前10時～11時30分、午後13時30分～15時まで

Ⅴ. 受講手続き

1) 受講手続き期間

2018年2月1日(木) ～ 2月28日(水) (消印有効)

2) 受講手続き方法

受講手続きについては、合格通知時に案内する。

3) 納付金

入学金：50,000円

授業料：700,000円

※即納入学金は原則として返還しない。但し、特別な事情があると認められる場合は、納入を行った授業料の一部を還付することができる。

※その他の経費

講義で使用する図書費・教材費、実習中の宿泊費、交通費及び資料代は自己負担となる。

VI. 受講手続後の辞退について

受講手続後、入学を辞退する場合は、電話連絡後、下記の文例を参考にした書面を提出する。この場合、納入された入学金・授業料については、理由を問わず返金しない。

連絡・提出先は、認定看護師教育課程事務担当とする。

<文例>

入学辞退について

私事都合により、静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程〇〇分野の入学を辞退いたします。

(理由)

20〇〇年 〇月〇日 受験番号〇〇 静岡花子 (自署) 印
推薦者署名 印

VII. 資格の取得

教育課程修了者は、公益社団法人日本看護協会が行う各分野の認定看護師認定審査を受験する資格が得られる。

VIII. 課程修了後の研修について

当課程修了生は、希望があれば認定看護師資格取得後に、静岡がんセンター内で 1 か月の研修をおこなうことができる。

問い合わせ先

〒411-0934 静岡県駿東郡長泉町下長窪1002-1

静岡県医療健康産業研究開発センター内

静岡県立静岡がんセンター 認定看護師教育課程 事務担当

電話番号 (055) 980-5191

IX. 分野別選抜要項およびカリキュラム概要

1. 皮膚・排泄ケア分野

1) 選抜要項

出願資格	<p>1) 通算3年以上(※1)、外科系領域またはストーマケアを行う病棟・外来・在宅ケア領域での看護実績(※2)を有すること。</p> <p>2) ストーマ造設患者の看護を1例以上、及び創傷または失禁ケア領域の看護を4例以上担当した実績を有すること。</p> <p>3) 現在、創傷ケア、ストーマケア、または失禁ケアを行う病棟・外来・在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。</p> <p>(※1) 2017年12月末で、外科系領域またはストーマケアを行う病棟・外来・在宅ケア領域での看護実務経験が36か月目以上であることを意味する。 勤務形態が常勤でない場合には5400時間以上の看護実務経験をもって通算3年以上とみなす。</p> <p>(※2) 看護実績とは看護実務経験を意味する。</p>
出願書類	<p>1) 入学願書(様式1)</p> <p>2) 履歴書(様式2)</p> <p>3) 実務研修報告書(様式3)</p> <p>4) 勤務証明書(様式4)</p> <p>5) 推薦書(様式5)</p> <p>6) 事例要約(様式6-1、6-2)</p> <p>7) 受験票(様式7)</p> <p>8) 看護師免許証の写し(A4版縮小コピー)</p> <p>9) 受験票返信用封筒(宛先明記の上、切手392円分貼付のこと)</p> <p>10) 選考試験結果通知書送付用封筒(宛先明記、切手不要)</p>
履歴書 (様式2)	<p>・専門分野の実務研修には、職歴のうち、皮膚・排泄ケア分野に関連した実務研修(※)を記入する。 ※研修=経験</p>
実務研修 報告書 (様式3)	<p>・実務研修施設概要では、最低3年間の認定分野歴における施設の実績について記入する。施設が複数の場合、施設ごとに記入する。</p> <p>・1-3)については、認定看護師等の有資格者から直接指導を受ける機会があることが望ましいが、ない場合には部署の師長か主任で、分野の経験の5年以上ある者から受けたことを記入する。施設外の認定看護師からの指導があった場合にはそれを記入する。</p>
事例要約 (様式6-1、 6-2)	<p>・所定の様式により作成すること。枠内に収まるように記入し別紙の追加は不可とする。</p> <p>・様式6-1に皮膚・排泄ケア看護の事例を創傷ケア、失禁ケアそれぞれ1事例を要約し、記述する。</p> <p>・様式6-2にストーマケア1事例について要約し、記述する。患者の個別性、ストーマ管理の状況が伝わるように、看護問題とその解決過程を中心にわかりやすく記述する。</p>

2) 教育課程の目的

- ①創傷管理及び排泄管理を要する患者とその家族の QOL 向上に向けて、水準の高い看護を実践する能力を育成する。
- ②皮膚・排泄ケア分野において 看護実践を通して他の看護職者に対して指導・相談ができる能力を育成する。

3) 教育内容、授業時間数

共通科目 150 時間		専門科目 285 時間		演習・臨地実習 240 時間	
看護管理	15	皮膚・排泄ケア概論	15	学内演習	60
リーダーシップ	15	皮膚のアセスメントとケア	30	臨地実習	180
情報管理	15	精神面のアセスメントとケア	15		
看護倫理	15	栄養のアセスメントと管理	15		
指導	15	排便機能に破綻をきたす病態の理解と評価	30		
相談	15	排尿機能に破綻をきたす病態の理解と評価	30		
文献検索・文献講読	15	ストーマケア	30		
臨床薬理	15	排泄障害のケア	30		
医療安全管理	15	創傷の病態と治療	30		
対人関係	15	創傷アセスメントと管理 I	30		
		創傷アセスメントと管理 II	30		
総時間数 675 時間					

※2017 年度現在 日本看護協会のカリキュラム変更の可能性あり

2. 緩和ケア分野

1) 選抜要項

出願資格	<p>1) 通算3年以上(※1)、緩和ケアを受ける患者の多い病棟、または在宅ケア領域での看護実績(※2)を有すること。</p> <p>2) 緩和ケアを受ける患者を5例以上担当した実績を有すること。</p> <p>3) 現在、緩和ケアを受ける患者の多い病院、または在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。</p> <p>(※1) 2017年12月末で、緩和ケアを受けている患者の多い病棟、または在宅ケア領域での看護実務経験が36か月以上であることを意味する。</p> <p>勤務形態が常勤でない場合には5400時間以上の看護実務経験をもって通算3年以上とみなす。</p> <p>(※2) 看護実績とは看護実務経験を意味する。</p>
出願書類	<p>1) 入学願書(様式1)</p> <p>2) 履歴書(様式2)</p> <p>3) 実務研修報告書(様式3)</p> <p>4) 勤務証明書(様式4)</p> <p>5) 推薦書(様式5)</p> <p>6) 事例要約(様式6-1、6-2)</p> <p>7) 受験票(様式7)</p> <p>8) 看護師免許証の写し(A4版縮小コピー)</p> <p>9) 受験票返信用封筒(宛先明記の上、切手392円分貼付のこと)</p> <p>10) 選考試験結果通知書送付用封筒(宛先明記、切手不要)</p>
履歴書 (様式2)	<p>・専門分野の実務研修には、職歴のうち、緩和ケアに関連した実務研修(※)を記入する。</p> <p>※研修=経験</p>
実務研修 報告書 (様式3)	<p>・実務研修施設概要では、最低3年間の認定分野歴における施設の実績について記入する。施設が複数の場合、施設ごとに記入する。</p> <p>・1-3)については、認定看護師等の有資格者から直接指導を受ける機会があることが望ましいが、ない場合には部署の師長か主任で、分野の経験の5年以上ある者から受けたことを記入する。施設外の認定看護師からの指導があった場合にはそれを記入する。</p>
事例要約 (様式6-1、 6-2)	<p>・所定の様式により作成すること。枠内に収まるように記入し別紙の追加は不可とする。</p> <p>・様式6-1に今まで受け持った緩和ケアを必要とした患者の事例を2事例、看護を要約し記述する。</p> <p>・様式6-2に今まで受け持った緩和ケアを必要とした患者の事例から1事例の看護過程の展開が明確になるよう、個別性も踏まえて記述する。(様式6-1の事例以外とする)</p>

2) 教育課程の目的

- ①緩和ケアを受ける患者とその家族のQOL向上に向けて、水準の高い看護を実践する能力を育成する。
 ②緩和ケアの領域において、看護実践を通して他の看護職者に対して指導・相談ができる能力を育成する。

3) 教育内容、授業時間数

共通科目 120 (+30) 時間	専門基礎科目 75 時間	専門科目 195 時間	演習・臨地実習 240 時間
<必須>			
看護管理 15	緩和ケア総論 15	症状マネジメントと援助技術Ⅰ (がん疼痛) 15	総合演習Ⅰ 30
リーダーシップ 15	がんとがんの 集学的治療 15	症状マネジメントと援助技術Ⅱ (消化器症状のマネジメント) 15	総合演習Ⅱ 30
情報管理 15	症状マネジメント 総論 15	症状マネジメントと援助技術Ⅲ (呼吸器症状のマネジメント) 15	臨地実習 180
看護倫理 15	喪失・悲嘆・死別 15	症状マネジメントと援助技術Ⅳ (リンパ浮腫のマネジメント) 15	
指導 15	がんの医療サービス と社会的資源 15	症状マネジメントと援助技術Ⅴ (皮膚・粘膜・口腔トラブルの マネジメント) 15	
相談 15		症状マネジメントと援助技術Ⅵ (精神症状・睡眠障害の マネジメント) 15	
文献検索・文献講読 15		症状マネジメントと援助技術Ⅶ (倦怠感・悪液質のマネジメント) 15	
臨床薬理学 15		緩和ケアを受ける患者の心理 社会的ニーズとケア 15	
<選択>		スピリチュアルケア 15	
医療安全管理 15		緩和ケアにおけるチーム アプローチ 15	
対人関係 15		緩和ケアを受ける患者の家族・ 遺族ケア 15	
		臨死期のケア 15	
		緩和ケアにおける倫理的課題 15	
総時間数 630 (+30) 時間			

※2017年度現在 日本看護協会のカリキュラム変更の可能性あり

3. がん化学療法看護分野

1) 選抜要項

出願資格	<p>1) 通算3年以上(※1)、がん化学療法を受けている患者の多い病棟・外来・または在宅ケア領域での看護実績(※2)を有すること。</p> <p>2) がん化学療法を受けている患者の看護(がん化学療法薬の投与管理の実績があることを必須とする)を、5例以上担当した実績を有すること。</p> <p>3) 現在、がん化学療法を受けている患者の多い病棟、外来で勤務していることが望ましい。</p> <p>(※1) 2017年12月末で、がん化学療法を受けている患者の多い病棟・外来・または在宅ケア領域での看護実務経験が36か月目以上であることを意味する。</p> <p>勤務形態が常勤でない場合には5400時間以上の看護実務経験をもって通算3年以上とみなす。</p> <p>(※2) 看護実績とは看護実務経験を意味する。</p>
出願書類	<p>1) 入学願書(様式1)</p> <p>2) 履歴書(様式2)</p> <p>3) 実務研修報告書(様式3)</p> <p>4) 勤務証明書(様式4)</p> <p>5) 推薦書(様式5)</p> <p>6) 事例要約(様式6-1、6-2)</p> <p>7) 受験票(様式7)</p> <p>8) 看護師免許証の写し(A4版縮小コピー)</p> <p>9) 受験票返信用封筒(宛先明記の上、切手392円分貼付のこと)</p> <p>10) 選考試験結果通知書送付用封筒(宛先明記、切手不要)</p>
履歴書 (様式2)	<p>・専門分野の実務研修には、職歴のうち、がん化学療法看護に関連した実務研修(※)を記入する。</p> <p>※研修=経験</p>
実務研修 報告書 (様式3)	<p>・実務研修施設概要では、最低3年間の認定分野歴における施設の実績について記入する。施設が複数の場合、施設ごとに記入する。</p> <p>・1-3)については、認定看護師等の有資格者から直接指導を受ける機会があることが望ましいが、ない場合には部署の師長か主任で、分野の経験の5年以上ある者から受けたことを記入する。施設外の認定看護師からの指導があった場合にはそれを記入する。</p>
事例要約 (様式6-1、 6-2)	<p>・所定の様式により作成し、枠内に収まるように1枚に記載する。</p> <p>・患者の特性と疾患を要約した上で個別性を踏まえたアセスメントを行い、潜在的・顕在的問題を抽出する。その看護問題から最も優先度の高い看護問題を一つ抽出し、看護実践と看護実践の評価を記述する。</p> <p>・様式6-1にがん化学療法看護(副作用への支援)の事例要約を記述する。</p> <p>・様式6-2にがん化学療法看護(心理・社会的支援)の事例要約を記述する。</p>

2) 教育課程の目的

- ①がん化学療法を受ける患者とその家族のQOL向上に向けて、水準の高い看護を実践する能力を育成する。
 ②がん化学療法看護分野の専門的知識と実践力を基盤として、他の看護職者に対して指導・相談ができる能力を育成する。

3) 教育内容、授業時間数

共通科目 120 (+30) 時間	専門基礎科目 60 時間	専門科目 195 時間	演習及び臨地実習 240 時間
<必須>			
看護管理 15	がん看護学総論 15	がん化学療法概論 15	総合演習 60
リーダーシップ 15	ヘルスアセスメント 15	がん化学療法薬の知識 15	臨地実習 180
情報管理 15	腫瘍学概論 15	主な疾患のがん化学療法 30	
看護倫理 15	がんの医療サービス と社会的資源 15	がん化学療法を受ける 患者・家族のアセスメント 15	
指導 15		がん化学療法レジメンの 特徴と看護 15	
相談 15		薬剤の投与管理とリスク マネジメント 30	
文献検索・文献講読 15		がん化学療法に伴う症状の 緩和技術とセルフケア支援 45	
臨床薬理学 15		がん化学療法に伴う患者・ 家族の意思決定を支える 看護援助 15	
<選択>			
医療安全管理 15		外来/在宅がん化学療法と 看護援助 15	
対人関係 15			
総時間数 615 (+30) 時間			

※2017年度現在 日本看護協会のカリキュラム変更の可能性あり

4. 乳がん看護分野

1) 選抜要項

出願資格	<p>1) 通算3年以上(※1)、乳がん患者の多い病棟または外来等での看護実績(※2)を有すること。</p> <p>2) 乳がん患者の看護を5例以上担当した実績を有すること。</p> <p>3) 現在、乳がん患者の看護に携わっていることが望ましい。</p> <p>(※1) 2017年12月末で、乳がん患者の多い病棟、外来等での看護実務経験が36か月目以上であることを意味する。</p> <p>勤務形態が常勤でない場合には5400時間以上の看護実務経験をもって通算3年以上とみなす。</p> <p>(※2) 看護実績とは看護実務経験を意味する。</p>
出願書類	<p>1) 入学願書(様式1)</p> <p>2) 履歴書(様式2)</p> <p>3) 実務研修報告書(様式3)</p> <p>4) 勤務証明書(様式4)</p> <p>5) 推薦書(様式5)</p> <p>6) 事例要約(様式6-1、6-2)</p> <p>7) 受験票(様式7)</p> <p>8) 看護師免許証の写し(A4版縮小コピー)</p> <p>9) 受験票返信用封筒(宛先明記の上、切手392円分貼付のこと)</p> <p>10) 選考試験結果通知書送付用封筒(宛先明記、切手不要)</p>
履歴書 (様式2)	<p>・専門分野の実務研修には、職歴のうち、乳がん看護に関連した実務研修(※)を記入する。</p> <p>※研修＝経験</p>
実務研修 報告書 (様式3)	<p>・実務研修施設概要では、最低3年間の認定分野歴における施設の実績について記入する。施設が複数の場合、施設ごとに記入する。</p> <p>・1-3)については、認定看護師等の有資格者から直接指導を受ける機会があることが望ましいが、ない場合には部署の師長か主任で、分野の経験の5年以上ある者から受けたことを記入する。施設外の認定看護師からの指導があった場合にはそれを記入する。</p>
事例要約 (様式6-1、 6-2)	<p>・所定の様式により作成すること。枠内に収まるように記入し別紙の追加は不可とする。</p> <p>・患者の特性と疾患を要約した上で個性を踏まえたアセスメントを行い、潜在的・顕在的問題を抽出する。その看護問題から最も優先度の高い看護問題を一つ抽出し、看護実践と看護実践の評価を記述する。</p> <p>・様式6-1に乳がん看護(周術期看護)の事例要約を記述する。</p> <p>・様式6-2に乳がん看護(周術期看護以外)の事例要約を記述する。</p>

2) 教育課程の目的

- ①乳がん看護の質向上を図るために、乳がん患者に対する適切なアセスメントを行い、集学的治療及び治療に伴う副作用への専門的ケアとセルフケア確立に向けた指導・相談ができる能力を育成する。
- ②乳がんの予防から終末期に至るまでの、乳がん患者・家族に必要とされる専門的な身体・心理・社会的支援ができる。

3) 教育内容、授業時間数

共通科目 105 (+45) 時間	専門基礎科目 120 時間	専門科目 120 時間	演習及び臨地実習 270 時間
<必須>			
看護管理 15	腫瘍学概論 30	集学的治療を受ける乳がん患者の看護 45	学内演習 45
リーダーシップ 15	がん看護学総論 1 30	乳がんサバイバーとその家族への心理・社会的支援 15	臨地実習 225
情報管理 15	がん看護学総論 2 30	乳がん患者の意思決定を支える看護技術 15	
看護倫理 15	乳がん看護概論 15	乳がん患者のボディイメージ変容への援助技術 15	
指導 15	がんの医療サービスと社会的資源 15	乳がん患者のリンパ浮腫の看護技術 30	
相談 15			
文献検索・文献講読 15			
<選択>			
臨床薬理学 15			
医療安全管理 15			
対人関係 15			
総時間数 615 (+45) 時間			

※2017年度現在 日本看護協会のカリキュラム変更の可能性あり

5. がん放射線療法看護分野

1) 選抜要項

出願資格	<p>1) 通算 3 年以上、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来・治療部門での看護実績を有すること。</p> <p>2) がん放射線療法を受けている患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。</p> <p>3) 現在、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来・治療部門で勤務していることが望ましい。 (※1) 2017 年 12 月末で、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟、外来等での看護実務経験が 36 か月目以上であることを意味する。 勤務形態が常勤でない場合には 5400 時間以上の看護実務経験をもって通算 3 年以上とみなす。 (※2) 看護実績とは看護実務経験を意味する。</p>
出願書類	<p>1) 入学願書 (様式 1)</p> <p>2) 履歴書 (様式 2)</p> <p>3) 実務研修報告書 (様式 3)</p> <p>4) 勤務証明書 (様式 4)</p> <p>5) 推薦書 (様式 5)</p> <p>6) 事例要約 (様式 6-1、6-2)</p> <p>7) 受験票 (様式 7)</p> <p>8) 看護師免許証の写し (A4 版縮小コピー)</p> <p>9) 受験票返信用封筒 (宛先明記の上、切手 392 円分貼付のこと)</p> <p>10) 選考試験結果通知書送付用封筒 (宛先明記、切手不要)</p>
履歴書 (様式 2)	<p>・専門分野の実務研修には、職歴のうち、がん放射線療法看護に関連した実務研修 (※) を記入する。 ※研修＝経験</p>
実務研修 報告書 (様式 3)	<p>・実務研修施設概要では、最低 3 年間の認定分野歴における施設の実績について記入する。施設が複数の場合、施設ごとに記入する。</p> <p>・1-3) については、認定看護師等の有資格者から直接指導を受ける機会があることが望ましいが、ない場合には部署の師長か主任で、分野の経験の 5 年以上ある者から受けたことを記入する。施設外の認定看護師からの指導があった場合にはそれを記入する。</p>
事例要約 (様式 6-1、 6-2)	<p>・所定の様式により作成すること。枠内に収まるように記入し別紙の追加は不可とする。</p> <p>・患者の特性と疾患を要約した上で個別性を踏まえたアセスメントを行い、潜在的・顕在的問題を抽出する。その看護問題から最も優先度の高い看護問題を一つ抽出し、看護実践と看護実践の評価を記述する。</p> <p>・様式 6-1 にがん放射線療法看護 (有害事象への支援) の事例要約を記述する。</p> <p>・様式 6-2 にがん放射線療法看護 (心理・社会的支援) の事例要約を記述する。</p>

2) 教育課程の目的

- ①がん放射線療法を受ける患者とその家族の QOL 向上に向けて、水準の高い看護を実践する能力を育成する。
 ②がん放射線療法看護の領域において、看護実践を通して他の看護職者に対して指導・相談ができる能力を育成する。

3) 教育内容、授業時間数

共通科目 105 (+45) 時間	専門基礎科目 120 時間	専門科目 150 時間	演習及び臨地実習 240 時間
<必須>			
看護管理 15	がん看護学総論 15	対象に合わせた放射線療法と看護 30	学内演習 60
リーダーシップ 15	腫瘍学概論 I 15	がん放射線療法の治療計画管理における看護 30	臨地実習 180
情報管理 15	腫瘍学概論 II 15	がん放射線療法を受ける患者と家族への心理及び社会的看護支援 15	
看護倫理 15	ヘルスアセスメント 15	がん放射線療法に伴う有害事象マネジメントとセルフケア支援 60	
指導 15	がんの医療サービスと社会資源 15	放射線療法における放射線の安全な取り扱い 15	
相談 15	がん放射線療法概論 30		
文献検索・文献講読 15	がん放射線療法看護概論 15		
<選択>			
臨床薬理学 15			
医療安全管理 15			
対人関係 15			
総時間数 615 (+45) 時間			

※2017 年度現在 日本看護協会のカリキュラム変更の可能性あり

別添 1 出願書類の記載および提出における注意事項

出願書類	様式	摘 要	提出 確認
入学願書	1	氏名、生年月日、現住所、電話番号を記入し、押印する。日付は記入日とする。 氏名は自署とする。	<input type="checkbox"/>
履歴書	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日付は記入日とする。 ・訂正する場合は、二重線を引き訂正印を押す。 ・学歴、職歴は欄が別になっているので、それぞれの欄に記入する。 ・所属機関は正式名称を記入する。 ・学歴は高校卒業からとし、学校名は学科・課程を含め正式名称を記入する。 ・職歴は、看護師としての職歴を非常勤も含めて全て記入する。 (准看護師歴は除く) 	<input type="checkbox"/>
実務研修 報告書	3	P8～「分野別選抜要項およびカリキュラム概要」参照	<input type="checkbox"/>
勤務証明書	4	<ul style="list-style-type: none"> ・出願要件を証明する機関（病院長又は看護部長の職位に相当する者）が作成したものに限る。 ・現在の職場で通算5年以上の実務実績を満たす場合は、その職場だけでよい。 満たさない場合は、その前の職場の証明も必要である。用紙は必要に応じてコピーすること。 ・専門看護分野の経験を中心に、配属された部署の特徴と経験年数を具体的に記入する。 	<input type="checkbox"/>
推薦書	5	所属する看護部長の推薦書であること。	<input type="checkbox"/>
事例要約	6	P8～「分野別選抜要項およびカリキュラム概要」参照	<input type="checkbox"/>
受験票	7	所定の用紙に必要事項をみれなく記入し、写真を貼付すること。	<input type="checkbox"/>
免許証		看護師免許証の写し（A4版縮小コピー）を同封すること。	<input type="checkbox"/>
返信用封筒		受験票返信用封筒（長形3号 120mm×235mm）：392円分の切手を貼付し、返信先を明記する	<input type="checkbox"/>
		選考試験結果通知書送付用封筒（長形3号 120mm×235mm）：返信先を明記する （切手は不要）	<input type="checkbox"/>